

# 性的指向と性同一性差別

## OFCCPは、性的指向および性自認に基づく差別からあなたを保護します

連邦契約コンプライアンスプログラム局 (OFCCP) は、連邦政府の請負業者および下請け業者が従業員や求職者を性的指向や性同一性に基づいて差別することを禁止する大統領令11246を改正を施行しています。

### 1. OFCCPは、性的指向及び性自認をどのように定義していますか？

“性的指向”とは、個人が同性及び／又は異性に対して抱く身体的、恋愛的、及び／又は感情的な魅力を指します。性的指向の例としては、ストレート（または異性愛者）、レズビアン、ゲイ、およびバイセクシュアルがあります。

“性自認”という用語は、自分自身の性別に対する内面的な感覚を指します。このことは、出生時に割り当てられた性別と一致する場合もあれば、一致しない場合もあり、また、他の人に見える場合もあれば見えない場合もあります。

### 2. 性的指向や性自認に基づく差別とは何ですか？

雇用差別は一般的に、雇用主があなたの性的指向や性自認のために、従業員や求職者として、より不利にあなたを扱う場合に存在します。また、雇用主の一目公平な方針や手順が、性的指向や性自認を理由に従業員や求職者に大きな悪影響を与える場合も、差別が存在する可能性があります。

### 3. 私の権利とは何ですか？

あなたには、性的指向や性自認に基づく嫌がらせなどの差別のない環境で働く権利があります。性的指向や性自認を理由に、嫌がらせや降格、

(企業の財政難などの理由における) 解雇、低賃金、雇用拒否、その他不利な扱いを受けることはありません。特に、請負業者は以下のことができません。

従業員または求職者に対して、性自認に関連する医療情報など、他のすべての従業員または求職者に求めない情報や身分証明書を求めること。

- 従業員や求職者が、自分の性自認に合ったトイレを使用することを拒否すること。
- 従業員や求職者に対して、性的指向や性自認を理由にした嫌がらせを行うこと。
- 合法的に結婚した同性の配偶者に、異性の配偶者に提供するのと同じ給付を拒否すること。
- シビルユニオンやドメスティックパートナーシップの同性パートナーに対して、異性パートナーに提供するのと同じ福利厚生を拒否すること。

### 4. OFCCP は誰を保護しますか？

OFCCPは、連邦政府と取引のある企業の従業員と求職者の権利を保護します。これには、銀行、IT企業、食肉加工工場、小売店、製造工場、会計事務所、建設会社などの従業員が含まれます。

### 5. 雇用主が性的指向や性自認を理由に私を差別したと思う場合、どうすればよいですか？

職場で、または仕事に応募する際に差別を受けたと思う場合、OFCCPに苦情を申し立てることができます。苦情を申し立てるために、雇用主が連邦政府の請負業者または下請け業者であることを確実に知っている必要はありません。



## 6. OFCCPに苦情を申し立てるにはどうすればよいですか？

差別に関する苦情は、以下の方法で提出することができます。

- OFCCPのウェブサイトからオンラインでフォームに記入し提出する。
- OFCCPの事務所で直接書式を記入する。または、
- 差別の疑いが生じた場所を管轄するOFCCP地域事務所に、記入した書式を郵送、電子メール、またはファックスで送る。

この書式は、<http://www.dol.gov/ofccp/regs/compliance/pdf/pdfstart.htm> からオンラインで入手できるほか、すべてのOFCCP事務所で紙媒体でも入手することができます。最寄りの事務所を探すには、<http://www.dol.gov/ofccp/contacts/ofnation2.htm>にあるOFCCP事務所のオンラインリストをご覧ください。

記入した苦情申立書には、忘れずに署名してください。署名しない場合でも、OFCCPは苦情を受理しますが、OFCCPの調査官は、その後の面接で用紙に署名するよう要求します。人種、肌の色、宗教、性別、性的指向、性同一性、又は国籍に基づく差別を主張する苦情は、正当な理由により提出期間が延長されない限り、差別の疑いのある日から180日以内に提出されなければなりません。この180日という期限は、給与に関する話し合い、開示、問い合わせを理由とする差別の申し立てにも適用されません。

## 7. 苦情を申し立てたことを理由に、雇用主が私を解雇したり、降格させたり、不利に扱ったりすることは可能ですか？

いいえ。苦情を申し立てたこと、または調査に参加したことを理由に、雇用主があなたに対して報復することは違法です。OFCCPの規則は、あなたの権利を主張することに対する嫌がらせ、脅迫、威圧、または報復からあなたを保護します。

## 8. OFCCPと雇用機会均等委員会（EEOC）の両方に差別の苦情を提出することは可能ですか？

はい。OFCCPとEEOCの両方に苦情を申し立てた場合、苦情は適切な機関によって調査されます。場合によっては、OFCCPとEEOCが協力して調査を行うこともあります。

OFCCPは、通常、連邦政府の請負業者に対して提出された、性的指向や性自認に基づく差別を主張する苦情を保管します。また、OFCCPは、一般に、従業員や応募者の集団に影響を与える差別のパターンがあると思われる場合や、障害や退役軍人の地位に基づく差別を主張する連邦契約者に対する苦情も保管します。一般に、OFCCPは、誰かが給与について尋ねたり、話し合ったり、開示したりすることに基づく差別を主張する連邦契約業者に対して提出された苦情を保管しています。

## 9. 雇用差別の被害者であることが判明した場合、どうなりますか？

あなたは、差別が起こっていなかった場合、あなたがされていたであろうポジションにあなたを配置する救済を受ける権利を有することができます。あなたは、雇用、昇進、復職または再配置する権利を有します。また、バックペイ、フロントペイ、昇給、またはこれらの救済措置の組み合わせを受け取る権利があります。さらに、OFCCPが連邦政府契約者または下請け業者が差別を行ったと認定した場合、OFCCPは当該企業の登録抹消、将来の連邦契約の候補からの除外、またはその企業の現在の契約または契約変更の取り消しを求めることができます。

詳細はこちらをご覧ください。：

米国労働局  
連邦契約コンプライアンス・プログラム事務局  
200 Constitution Avenue, NW  
Washington, D.C. 20210  
1-800-397-6251  
TTY: 1-877-889-5627  
[www.dol.gov/ofccp](http://www.dol.gov/ofccp)

このファクトシートは一般的な情報を提供するものであり、ここに記載されているプログラムに関する実際の法律や規制を代替することを意図したものではありません。

